

年 月 日

兵庫教育大学長 殿

受入研究

所属・職 教育内容・方法開発専攻・教授

氏名 喜多村 明里



外国人研究者短期招へいプログラム研究成果報告書

外国人招へい研究者の研究経過について、下記のとおり報告します。

1. 外国人招へい研究者 氏名 (所属・職・国籍) ベトナム・バリアブントウ教員養成大学 日本語教師 Cao Noa Thuy
2. 研究課題名 ベトナム人による日本語学習と日本人によるベトナム語学習 ——言語教育システムの相互的改良について (英訳名) The teaching methods of Vietnamese Language for Japanese people and Japanese language for Vietnamese People. For the mutual improvement of the Language Instruction System
3. 期間 平成26年9月30日 ～ 平成26年10月8日 (9日間)
4. 主な研究協力者 氏名 (所属・職・氏名) 寺尾 裕子 (文化表現系教育コース言語分野 [国語]・教授) ○喜多村明里 (文化表現系教育コース芸術分野 [美術]・教授)

(注) 必ず招へい研究者の作成した Research Report と併せて、招へい期間終了後1か月

以内に、提出してください。

(裏面につづく)

5. 滞在中の日程

年月日	訪問先名称・訪問内容（研究討議・講演・視察等）
平成 26 年 9/30 火)	午後、関空より到着。学長・副学長に挨拶、国際交流会館宿泊施設に入る。 喜多村教授と夕食をともにしつつ面談、日程および希望細部を確認。
10/1 水)	学内のほか2 限寺尾教授の講義を見学、午後、学生の案内にて姫路城見学
10/2 木)	1 限寺尾教授「日本語教育演習」に参加、指導法に関する情報交換
10/3 金)	本学図書館にて教科書等資料調査。午後、神戸 HLC 見学
10/4 土)	京都市内へ。京都外国語大学附属京都外国語専門学校ベトナム語学科・日本語コミュニケーション学科を見学、教員研究者 2 名と面談のうえ情報交換（喜多村教授随行）。
10/5 日)	京都市内、清水寺見学。午後、複数の大型書店にて日本語教育テキストおよび教材・参考書を調査、購入。（京都市内 2 泊）
10/6 月)	丹波篠山市内見学を経て帰着、午後、名古屋から来訪した日本語教師と面談、バリア・ブントウ教育大での受け入れ予定について確認調整等。
10/7 火)	本学図書館にて資料の再調査。午後、国際交流センター事務局員と面談、今後の大学間交流プログラムに関する打ち合わせ。近隣の仏寺を視察。
10/8 水)	早朝本学を出発、帰国。

(注) 来日日及び離日日を含めて記入してください。

6. 研究討議・研究協力等実施の状況とその成果

喜多村教授は国際交流センター長の立場から、ガー氏が滞在中に本学とその近隣の環境、日本の歴史文化に親しんでもらうよう努めた。日本語教育の指導法や教材に関しては寺尾教授と意見交換のうえ、日本語の指導法に関する授業に参加し、また、来日前から準備してきた購入を要する教材テキスト類をすべて入手できたほか、都市部の語学専門学校にてベトナム語教育と日本語教育の実情について知見を深め、さらに大型書店などで多様な教材を実見するおとで、ベトナムの国情に応じた資料購入をさらに進めることが出来た。
なお、本学国際交流センター・スタッフと本年度末の大学間交流計画に関する具体的な打ち合わせを行うなどした。バリア・ブントウ大における日本語教育とその手法の研究、大学間交流に関する具体的かつ実質的な協働と信頼の関係を一層高めることができた。

7. 外国人招へい研究者事業に対する意見・要望等

とくに無し。